

LEVEL

3

の 野ばら

げんさく おがわみめい
原作：小川未明



朗読音声のダウンロード
Audio download

よ まえ ★読む前に Before you read

《多読の読み方》

多読とは、とてもやさしい本から楽しくたくさん読んで日本語を身につけていく方法です。

次の4つのルールを守って楽しく読みましょう。

1. やさしいレベルから読む
2. 辞書を引かないで読む
3. わからないところは、とばして読む
4. 進まなくなったら、他の本を読む

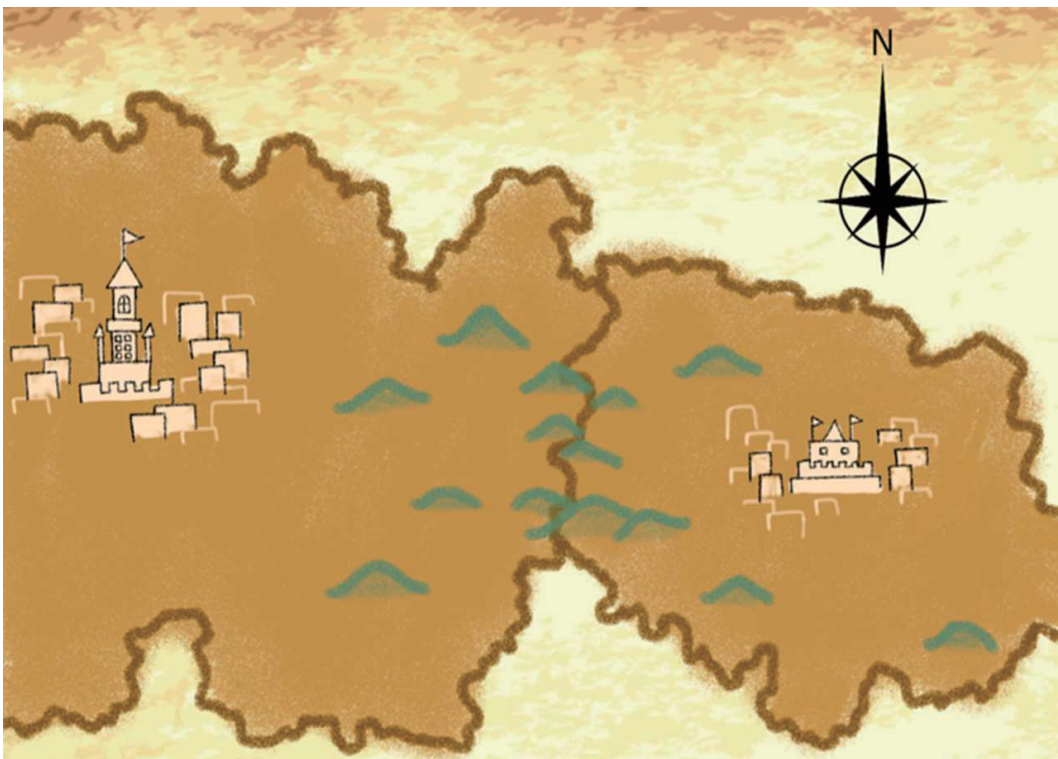


《How to do Tadoku》

Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

1. Start from scratch.
2. Don't use a dictionary.
3. Skip over difficult words, phrases and passages.
4. When the going gets tough, quit the book and pick up another.



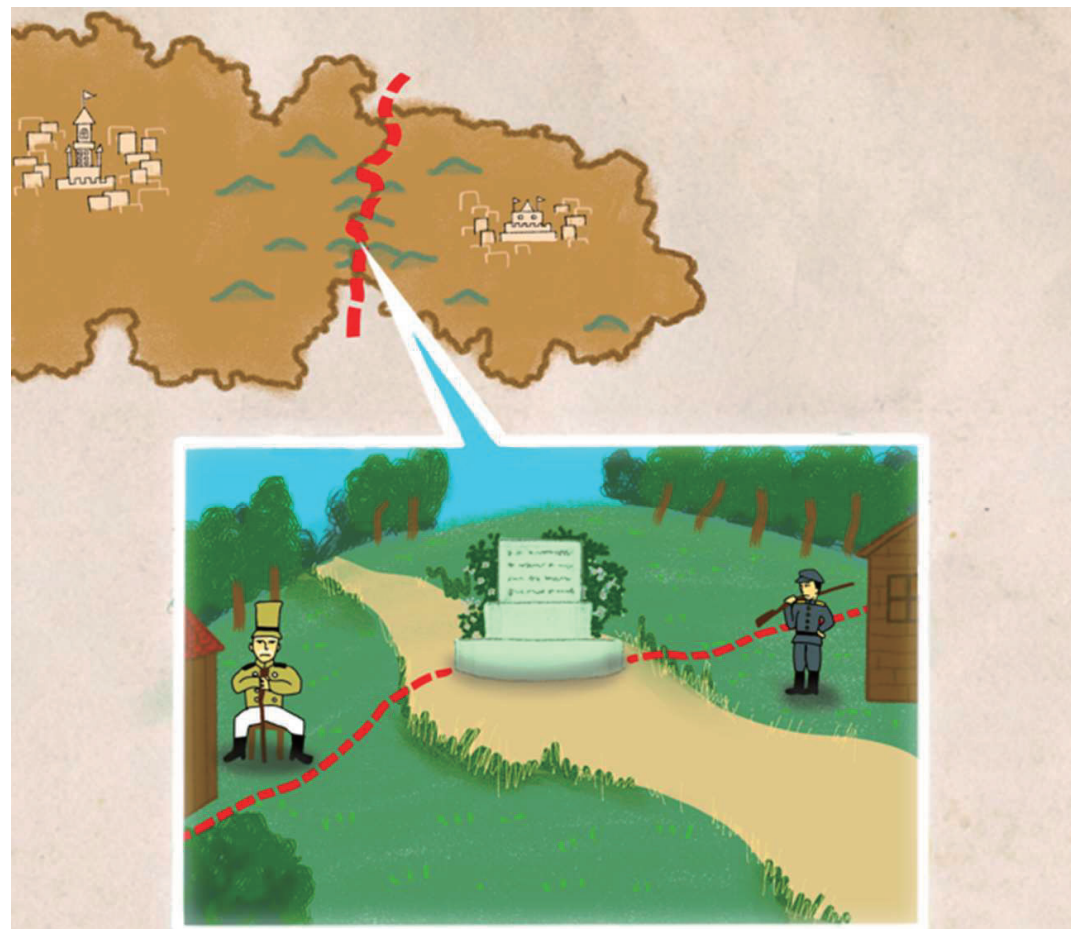


おお くに
大きい国がありました。

となり すこ ちい くに
その隣に、それより少し小さい国がありました。

くに ひと たの しず くに
2つの国の人たちは、楽しく静かに暮らしていました。

へいわ
とても平和でした。



まち とお いなか やま なか
ここは町からとても遠い、田舎の山の中です。

みち せきひ た
道に石碑が立っていました。ここは「国境」です。

こっきょう
この国境を、2つの国から来た兵士が守っていました。

おお くに へいし ろうじん ちい くに へいし せいねん
大きい国の兵士は老人で、小さい国の兵士は青年でした。

ふたり へいし てっぽう も まいにち せきひ みぎ ひだり
2人の兵士は鉄砲を持って、毎日、石碑の右と左に
立っていました。

さび とお
とても寂しいところで、ほとんどだれも通りません。



ふたり
2人は、はじめは全然話ぜんぜんはなしませんでした。
でも、だんだん話はなすようになりました。
他に話ほかにをする人もいなくて、つまらなかったからです。
そして、春の日が暖はるかく、やさしく頭あたまの上で
光ひかっていたからです。



せきひ
石碑ののところに野ばらが
咲さいていました。
の野ばらの周りまわには、
あさはやあさはや じかん
朝早い時間から
みつばちみつばちと
ミツバチが飛んできて、
あつ
集あつまっていた。



まいあさまいあさ みつばちみつばち たちたちの気持ちきもちのよい
「ブンブン・・・」という羽はねの音おとが、
まだ寝ねているふたりふたりの耳みみに
聞こえてきます。
「どれ、もう起きようか。
あんなにミツバチが来きている」
と、ふたりふたり おなおな じかんじかん お
と、2人は同じ時間に起きました。

ふたり そと で あさ ひ き うえ
2人が外へ出ると、朝の日が木の上で

げん き あか ひか
元気よく明るく光っていました。

ふたり かお たら みず で
2人は顔を洗いに、きれいな水が出ている
ところへ行きました。

「やあ、おはよう。いい天気ですな」

ほんとう てん き てん き
「本当にいい天気ですね。天気がいいと、
き も
気持ちがいいですね」

ふたり はなし
2人はこんな話をしました。

かお あ そら もり み
そして顔を上げて、空や森を見ました。

まいにち み
毎日見ているものですが、
まいにちあたら き も
毎日新しい気持ちがありました。



ろうじん せいねん
老人は青年に、
ちえす おし
チェスを教えました。

せいねん
青年はそれまで、
ちえす あそ かた
チェスの遊び方を
し
知りませんでした。

おし てん き ひる
でも教えてもらってからは、天気の良い昼には、
ふたり まいにち ちえす あそ
2人は毎日チェスをして遊ぶようになりました。

ろうじん つよ
はじめは老人のほうが強かったのですが、
せいねん じょうず
青年がどんどん上手になっていって
ろうじん ま おお
老人が負けることも多くなってきました。

せいねん ろうじん
青年も老人も、
ほんとう
本当にやさしくて
ひと
いい人でした。

ふたり ちえす とぎ
2人はチェスの時は、
いっしょうけんめい か
一生懸命「勝ちたい！」

がんば
と頑張りますが、
たたか ちえす とぎ
戦うのはチェスの時
だけです。



「やあ、これは俺の負けかな。こんなに逃げてばかりいたら
苦しいなあ〜。もしこれが本当の戦争だったら、大変だ！」
と老人は言って、大きな口を開けて笑いました。
青年は、「今日は勝てるかもしれない!」と、
チェスに一生懸命でした。

小鳥が木の上で面白そうに歌っていました。
白い野ばらの花からは、いい匂いがしていました。



この国境にも、やはり、冬は来しました。
寒くなると、老人は
「早く、息子やその子供たちがいる南の方へ帰りたい」
と言いました。
すると青年は言いました。
「あなたが帰ったら、その後知らない人が来るでしょう。
あなたと同じように親切で優しい人ならいいですが、
“私たちは国が違う。お前は敵だ”
と考える人だったら、私は困ります。
お願いですから、もう少しの間ここにいてください。
もう少ししたら、春が来ます」



ふゆ お 冬が終わって、また 春 になりました。

ちょうどその頃、
この2つの国の間に問題が起きて、
2つの国は戦争を始めました。



それまで毎日楽しく暮らしていた2人が、敵になったのです。
それは本当に、不思議なことでした。



ろうじん い
老人は言いました。

「お前の国と私の国は
戦争を始めた。

私はお前の敵になったんだ。

さあ、だから私を殺せ。

そして私の首を持って帰って、

自分の国の人に見せるといい。

みんなは喜ぶだろう」



これを聞くと、
青年はびっくりして
言いました。

「何を言うんですか。
どうしてあなたが私の敵でしょう？」

そして、

「私の敵は、絶対にあなたではありません。

戦争をしているのは国の北の方です。

私はそこへ行きます」



青年はそう言って、
北の方へ行ってしまいました。

ろうじん ひとり
老人は一人になりました。

せいねん ひ ろうじん まいにち
青年がいなくなった日から、老人は毎日、
こころ なに な きも
心から何かが無くなったような気持ちでいました。

の はな き あさ ばん
野ばらの花が咲いて、朝から晩まで、
そのまわ みつばち と
その周りをたくさんのミツバチが飛んでいます。

せんそう とお
戦争をしているのはここからとても遠いところです。
いくら みみ とお そら み てっぽう おん
いくら耳をすましても、遠くの空を見ても、鉄砲の音は
ぜんぜん き すこ けわり み
全然聞こえないし、少しの煙も見えませんでした。

せいねん ろうじん
青年がいなくなってから、老人はずっと
せいねん かんが
青年のことを考えていました。

せいねん だいじょうぶ
「あの青年は大丈夫だろうか・・・」
ろうじん いちにちいちにち す
老人の一日一日はこうして過ぎていきました。



あるひ たびびと とお
ある日、旅人がここを通りました。
ろうじん せんそう ひと き
老人は「戦争はどうなった？」とその人に聞きました。
せんそう お ちい くに ま
「戦争は終わったよ。小さい国が負けて、
きた くに へいし ころ
北にいたその国の兵士たちはみんな殺された」
たびびと こた
と、旅人は答えました。





ろうじん
老人は
「それならあの青年も
死んだのだろうか・・・」
と思いました。

せきひ すわ
石碑に座って、
ろうじん なが じかん
老人は長い時間そんなことを考えていました。

しばらくすると眠くなって、
そのままそこで
寝てしまいました。



とお
遠くから、
たくさんひとの人が来る音がしました。
ろうじん あたま あ
老人が頭を上げて見ると、
ちい くに へいし
小さい国の兵士たちが、
なら ある き
並んで歩いてきました。
みんな、とても静かです。

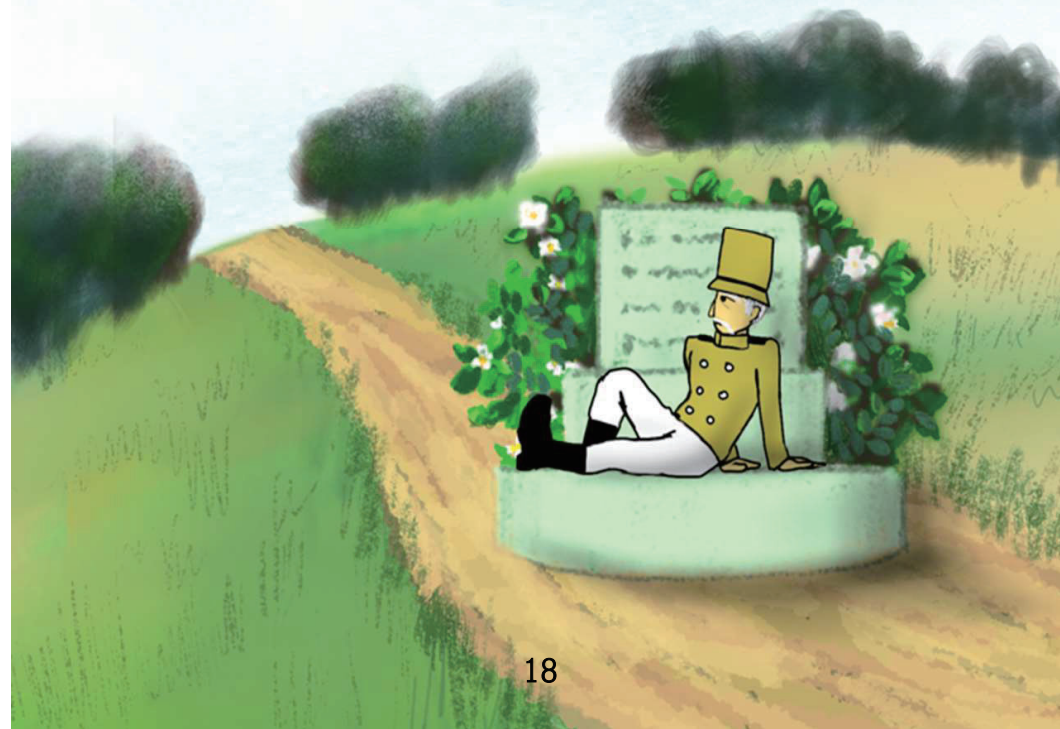
いちばんまえ うま の
一番前で馬に乗っているのは、
あの青年でした！

ろうじん まえ とお とき せいねん なに い あたま さ
老人の前を通る時、青年は何も言わないで頭を下げました。
そして野ばらの匂いをかぎました。

ろうじん せいねん なに い とき め き
老人が青年に何か言おうとした時、目が覚めました。



それは、^{ゆめ}夢だったのです。



それから1か月ぐら^いすると、
の^の野ばらは^か枯れてしまいました。

その年^{とし}の秋^{あき}、老人^{ろうじん}は長い^{なが}休み^{やす}をもらって、
みなみ^{みなみ}の方^{ほう}へ^{かえ}帰りました。

の 野ばら

発行日 : 2022年^{ねん}7月^{がつ}30日^{にち}

原作 : 小川^{おがわ} 未明^{みめい}

簡約・絵 : 池田^{いけだ} あきつ

協力 : NPO多言語多読主催 -

「中級用読みもの作成講座」参加者

監修 : NPO多言語多読



この作品はクリエイティブ・コモンズ表示-非営利-改変禁止4.0国際ライセンスの下に提供されています。

This book is licensed under CC BY-NC-ND 4.0

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>